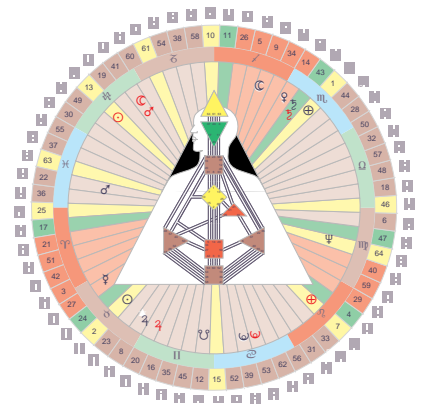


「ヒューマンデザインシステム」とは？

生年月日等の誕生データから、特有の図（レイヴボディチャート）に表し、その人の肉体的特質（エネルギー状態および健康など）を読み取ることができる、自分自身を客観的に知る「取扱説明書」のようなもの



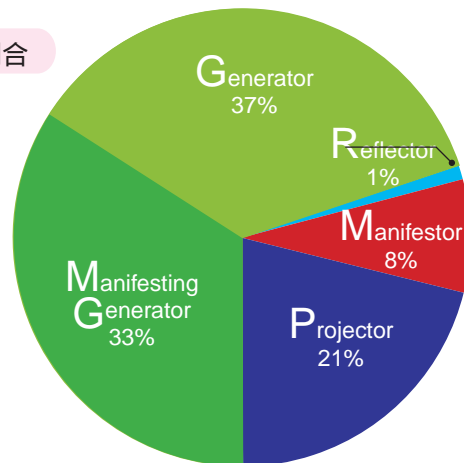
「レイヴボディ」チャートで、何が判るの？

生まれ持った特質や、遺伝的な性質、人類の進化という流れの中における個性の自己実現の方向、肉体的な強弱の部位、人との関わりの中でどのように在るか、様々な決断の場面での対応方法など

DNAのアミノ酸生成時の「4つの塩基」=「4つのタイプ」

ヒューマンデザインシステムの根幹の部分に、人類という集合体の中での大きな役割分担として、「タイプ」による分類があります。それは、化学でも知られている、アミノ酸生成時に欠かせない4つの「塩基」の働きにリンクしているものです。ですから、自分がどのタイプに属するのか？を知ることで、人という集合体の中における、自分自身の役割を知ることにつながります。つまり自分がどう在ればいいのか？とか、全体の中でどう機能していくのか？という部分を知ることができます。

各タイプの割合



チャートを出すのに必要なもの

出生データだけです。お名前は仮名でも構いません。

- ・ 生年月日（西暦）
- ・ 出生時刻（なるべく正確な方が良い）
- ・ 出生地（地方の場合は近隣の著名な都市名も）

無料チャート出力サービス

ヒューマンデザイン・ジャパンのHPをご利用下さい

各タイプの見分け方

マニフェスター：約8%

仙骨センターが未定義で、他の3つの動力のうち、どれかが喉に繋がっている

プロジェクター：約21%

仙骨センターが未定義で、他の動力が、どれも喉に繋がっていない

ジェネレーター：約70%

仙骨センターが定義されている

マニフェスティング・ジェネレーター（約33%）

4つの動力のどれかが、喉に繋がっている

ピュア・ジェネレーター（約37%）

動力が、喉に繋がっていない

リフレクター：約1%

定義センター無し